

中部経済新聞

MID-JAPAN ECONOMIST

April 3, 2008

名古屋に新事務所

コート
イン
ボイ
・

航空宇宙関連や
車部品需要開拓

日本人を設立

熱処理加工世界最大手のボデイコート・インターナショナル(本社英国チェシャー州)は二日、日本人「ボデイコート

・ジャパン」(ジュリアン・ペイシヨア社長)を設立したと発表した。二〇一〇年までに国内最初の工場を立ち上げ、自動車部品や航空宇宙関連産業の需要を開拓する。

新事務所は名古屋市西区の名古屋ルーセントタワー四十階(電話052・912・5518)に開設した。当初スタッフは三人。中期計画では国内に十工場を展開し、従業員五百人、売上高五十億円をめざす。

同社は世界三十五カ国に一万一千人の従業員を持つ熱処理受託加工業者で、〇七年度売上高は十億米ドルを上回る。販売連絡事務所の設立は中国、インド、シンガポールに続きアジア五カ国目。同社は日本政府や自治体、名古屋産業界などが対内

直接投資を促す「グレート・ナゴヤ・イニシアチブ」のメンバーで今回、日本貿易振興機構(ジェトロ)などが市場参入を支援した。